

新退教通信

No.176

2018. 12. 1

 新潟県退職
 教職員連絡協議会
 ☎Fax 025-281-8146

日々、学ぶ



新退教副会長

小幡 晴美

本部役員の一員として、この一年半、多くの皆様に支えられて、微力ですが新退教の活動に関わらせていただきました。学ぶことの多かった一年半でした。

毎回の、各支部からの「支部だより」が大変楽しみでした。各支部ならではの、アイデアを生かした活動と愉しさいっぱいの写真に心が弾みます。

近況報告からは、会員の皆様がいろんな趣味を持って、充実した人生を生きっておられることを知りました。様子を伝える皆さんの笑顔が全てを物語っています。日々、刺激を受

け学んでいます。

10月、「第24回 日退教組織活動交流集会」に参加させていただきました。

秋田県からは「イーリス・アショア配備反対の取り組み」、福島県からは「原発事故7年半の福島現状と課題」の報告がありました。各県の現状の厳しさ、平和と安全を守る取り組みのご苦労が、切実に伝わってきました。大変さは分かっているつもりでしたが、現実はその甘いものではありませんでした。支部だよりや交流会を通して、なんと自分は、いままで「知らなければならぬことを、知らないままにいたか、いかに何もやってこなかったか」を痛感しました。

魅力いっぱいの「支部だより」は、配布するだけでは勿体ない。顔を見て配り、話し、新退教の楽しさや頑張りを分かって貰おう。たくさんある学びの機会をもっと大事にして知を得ていこう。そうすれば、署名や活動の取り組み方も、今までの自分と違ってくるだろうと、遅ればせながら思いました。みんなで力を合わせ、さらに、一歩一歩前進する新退教でありたいと思います。



目次

(敬称略)

巻頭言

小幡 晴美

学びの集い

4p 2p 1p

糸魚川支部

磯谷 正芳

柏刈支部

小林 公一

北新支部

古田セツ子

西蒲燕支部

遠藤 昇

三南支部

米田美智子

5p 全国高齢者集会
各種総会、県囲碁大会

米山 忠彦

6p 各種総会、
特別寄稿

中野 敏明

7p 会員のページ

高橋 初敏

秋華 (染)
佐久間節子さん

健やかに老いる

腰は重く目がかすんで歯もガタガタ、
 がんでもある。でもね、それでいいの。
 人間は不自由に仕えて成熟していくん
 です。不自由を何とかしようとするんじ
 ゃなくて、不自由なままおもしろがって
 いく、それが大事なんじゃないかと思っ
 ています。

樹木希林

学びの集い

10月18(木)、新教組会館で「第2回学びの集い」を開催しました。(参加者78名)テーマは「脱原発」「共生」「憲法」です。

第1部 講演会(午前)



(株)イシカワ副社長 片桐奈保美 様

懸命に生きる

～時間のつくりかた～

講師の片桐様は非常にご多用な方で、3つの副社長(イシカワ、ステーツ、不動産情報社)と代表取締役(アトリエ・ジャム)、そして、複数の役職(新潟経済同友会の副代表幹事、新潟商工会議所女性会の副会長、新潟県日韓親善協会の会長、新潟の新しい未来を考える会の会長等)を務めておられます。

苦労人の片桐様は、NHKラジオ新潟「朝の随想」にも出演され、その内容を本『ぜんぜんごー 住まいを造り続けて…51歳から大学へ』にまとめ、出版されました。(講演当日、全員に本をプレゼント！感激！)

当日のご講演は多岐に及ぶ楽しい内容でした。会社を育てる苦労、家族・夫婦関係、会社の今(働き方改革等)、脱原発、お隣の韓国…。話題豊富で、目から鱗。あつという間

の1時間でした。

参加者の感想

☆パワーをいただきました。生き方が前向きで、プラス思考で、行動的で、すばらしいと思います。多忙でも時間を見つけ、チクチク刺しゅうをされることも、なるほどと思いました。時間はつくるものですね。

☆経営者の方が原発反対をすることに驚きました。刈羽村という原発5キロの範囲にすべの住民が入る所に住んでいても、反対するのは中々大変です。でも、今日は勇気をいただきました。

☆普段とてもお目にかかることのないイシカワの片桐副社長様の講演、本当にガシーンと頭をなぐられたような感じでした。頑張っている方を目のあたりにすることは何ものにもかえがたい力になります。

☆原発問題はなんとなく通りすぎてしましたが、子どもの未来、日本の未来を考えると今こそ真剣に向き合い、考えを深めていかなければいけないと実感しました。片桐さんの話を大勢の人に聞いてもらいたい。



◇高すぎる携帯電話料金！ 私たち利用者も声を上げよう

8月、官房長官は「4割下げる余地がある」と述べ、総務相は8/23、電話等に関する規制の見直しなどを情報通信審議会に諮問した。答申は来年末ごろ。携帯料金は家計に大変な重荷。しかも、料金体系は複雑で分かりにくい。他社への乗り換えもままならない。新規契約は優遇され、長年の使用者にはサービスが少ないなど、問題が多い。新退教は、この現状改善の取り組み強化を、日退教と県退職者連合に要請した。(日退教は連合に要請)これに呼応し、一市民として私たちも投書等で声を上げよう。



◇西日本豪雨「被災会員への義援金」、取り組み中

お一人500円以上お願いできれば幸いです。届け先は各支部(各支部→本部2/20㍻切)
(*北海道地震と台風による会員被害は報告がなく、日退教の義援金取り組み無しとのこと)

◇「学びの集い」でのカンパ、ありがとうございました

10/18、「学びの集い」の講演会場で、日退教の要請を受けての「沖縄の反辺野古基地闘争等支援の日退教闘争カンパ」をお願いしたところ、16,285円も集まりました。大変ありがとうございました。早速、日退教へ送金しました。

第2部 観劇会(午後)

普通の女の時間です

〜1945年のトップシークレット〜

女性劇団 blue ジーンズ 様

終戦直後の1945年12月、連合国軍総司令部(GHQ)の民生局スタッフとして、22歳の米国人女性ベアテ・シロタ・ゴードンが来日した。ベアテは少女時代を日本で過ごしていて、日本に残っていた両親に会いたいという日本での仕事を求めている。

ベアテはGHQで通訳・調査・憲法の草案を考えることを命じられた。少女時代に見聞きした日本の男女格差を思い出し、日本の女性が幸せになるためには何が必要か…。

そして、ベアテは米国憲法にもない「男女平等」を提案した。日本政府は「土壌がない」等で激しく反対。ベアテは食いつかる…。結果、日本国憲法24条に「男女平等」が残った。しかし、極秘事項だったため、自分が書いたことは約50年間明かさなかった。

舞台は移り、現代。「普通の女」たちが明るく毎日奮闘している。誰かに踊らされていると思うこともあるが、でも戦前とは違う。「普通の女」の出番だ。



参加者の感想

◇ トップシークレットの歴史を知らずに今まで生きていた自分。戦前の女性の苦しさを身をもって体験した演劇。精一杯演じたジーンズ様に感動です。



◇ 劇を見て、このようなアメリカ人の女性が関与していたことを初めて知りました。それが極秘であったことも含めて、世の中は誰かが苦労されていることを改めて分かりました。劇は格調があり熱演でした。

◇ 迫力あるセリフ、所狭しと動き回る行動力演技力は、心に秘めたものがはじけているのだと推察できました。不都合を黙ってはいけけない。何が正しいか知らなければならぬなど、心を揺さぶられました。

◇ 劇は大変良かった。着眼点がすごい。笑いも取り入れあきないで見ることができた。「憲法改正」について、もう少し注意していかねばならない。

◇ ブルージーンズの公演は、改めて、女性の権利・生きる権利・平和憲法の大切さを気付かせてくれるものでした。

〈新退教本部主催「ことぶき講座」ご案内〉

- A 笑いヨガ&芸能ショー *動きやすい服装、水筒、汗拭き
12/7(金)、1/11(金)、2/15(金)、3/15(金)、4/19(金)
- B パソコン何でも相談 1/21(月)、7名前後 ※ノートパソコン持参、申込時に相談内容も一言
- C 確定申告をしよう 2/8(金)
[持参] 源泉徴収票、保険料控除証明書、医療費等領収書、筆記具・電卓等
◇ 平成30年中に退職や離職をした方はぜひ。
- D 子どもの本から学ぶ今どきの子ども 3/18(月)
- E 始めよう「エンディングノート」 4/15(月)
- F スマホ相談 4/8(月)



◎いずれも、◇会場…新教組会館 ◇10:30~12:00 ◇申込方法…開催日7日前までに、葉書or FAX(講座名、氏名、電話、支部名明記) or TEL(月水金10:00~16:00)で申し込みを。

〒950-0965 新潟市中央区新光町7-4 新退教 宛 TEL・fax 025-281-8146



支部からのたより



この頃思ふこと

糸魚川支部長

磯谷 正芳



今年で新退教糸魚川支部の役員10年目。それと同時期に公民館の仕事を受けて10年。公民館の仕事は思った以上に大変。それでも事業を工夫すればそれなりにいいことも。7回目を迎えたジオパーク研修とふるさとウォーク。ふるさと糸魚川と木浦が活動の場。資料を手がかりに行き先を調べ、コースを決める。前者はバスで、後者は歩いて、事業に参加した仲間と一緒に現地を訪ねる。

糸魚川に住んでいながら知らない所、行ったことのない場所の多さに驚く。まさにふるさと再発見。それと合わせて参加者との出会い。これもまた新鮮である。肩に力を入れて何か特別のことをと無理をしなくても、身近な所に活動のヒントがあるのでは。そう考え、気楽に支部の活動に携わっていかればと思う今日この頃である。

支部活動の充実

柏刈支部事務局長

小林 公一

柏刈支部は、賛助会員を含め総勢370名弱の組織となります。活動の一環として、毎月3回グラウンド・ゴルフを行っています。(木曜の9時から11時まで) 昨年度は、支部の賛助会員(眞貝吉治・洋子様)からグラウンド・ゴルフ一式をご寄贈いただきました。お陰様で、さらに熱が上がり、緑いっぱいであたたかな潮風公園で楽しんでいます。

また、活動の基盤として、広報の発行があります。年2回の発行ですが、会員の近況報告、会員の活躍、支部活動の様子などを掲載しています。特に近況報告は、ご好評いただいております。「柏刈支部だより」を楽しみにしている会員が多いです。予算も減少傾向にありますが、役員皆で知恵を出し合って活動の充実、発展に努めていきたいと思っています。



病に打ち勝つには

「笑いがいちばんだよ！笑いましょう!!」

北新支部事務局長

古田 セツ子



猛吹雪の朝、私は玄関先で転倒し背骨を骨折。3ヶ月入院した。おまけに入院先で突然顔面麻痺という病にも襲われた。突然耳が聞こえなくなり、目は開きっぱなしで痛く、又視力も落ち新聞すら読めない状態。話す・食べることは勿論、飲み込むことすら困難！「私はこの先どうなるのだろう！介護の必要な夫を抱えて！」と思うと絶望的になり、幾夜涙したことだろう！そんな闇の中で突然「泣いていて何になる！」「多くの方からの愛が後押ししてくれているではないか！負けてなるものか」との思いが体中から脈々と沸き上がってきた。

そこで「一人笑いヨガ」を開始。布団の中で！トイレで！早朝の屋上で！広場で！到る所へ車椅子で出掛け、笑って笑って笑い転げた！楽しいことを想像しながら！毎日3時間以上！今も続けている。免疫力アップ！食欲旺盛！血圧血糖値正常！骨折や顔面麻痺もやや回復状態。医師には「奇跡的な回復だ」と驚かれた。「人間には自力で治せる宝物」を神様が授けて下さっていると実感！感謝感謝！

研修旅行

西蒲・燕支部長

遠藤 昇



今年で14年目を迎えた当支部の日帰り研修旅行の大きな流れについて御紹介します。

○春の総会で研修委員会提案の候補地の中から、会員の多数決により行き先を決定

○6月に研修委員会が下見に基づき計画立案

○8月の役員会で協議し最終決定。その後、

案内文書を全会員に発送、参加者募集

○10月に研修旅行実施。12月に参加者全員の感想文を支部だよりとして発行

今年は36名で牧之通りをメインに南魚沼を訪ねました。昨年同様2名の地元ガイドによる説明もあり、充実した研修になりました。また、昼食懇親会も大いに盛り上がり、会員同士の交流も深まりました。

次年度以降も充実した研修旅行にするために、各支部から「お勧め・穴場スポット」の情報をお寄せいただければ幸いです。



係ない。気にしない。

今はやめているが、私もそこでボランティアお婆（あ）さんをしていた。今はお客さんの一人として常連さんだ。時に背高のつぽのおじさんとも出あえる。現役中は限られた人間関係しかなかったが、ここぞとんどん拡がった。

三条には皆でお金を集めて、買い取った古民家を市の名誉遺産や、介護施設に代え、今も発信中の施設がある。「丸井今井邸」かじまの家」だ。市民として誇りだ。

たのしいよ、ボランティア

三南支部幹事

米田 美智子



三条のまちのど真ん中に「スマイル本町」という小さな喫茶店がある。今、商店街はシッター化しているが、そこだけ、いつも笑いとおしゃべりが絶えない。コーヒーを運んでくれるのはユニークなおしゃべりのウエイターさん達。彼らとの会話が実に楽しい。彼らは知的障害を持っているが、ここでは一切関

全国高齢者集會に参加して

副会長 米山 忠彦

私たち新退教（新潟県退職教職員連絡協議会）は生活や平和を守るために、日本退職者連合や新潟県退職者連合など全国や県内の団体と連携し、中央・地方交渉を進めています。

9月、入沢副会長（日退教副会長）と共に、地方公務員退職者協議会の集會、日本退職者連合＆連合の集會、の2つに参加して来ました。会場には「初めて参加した時は年寄りだらけと思った。でも自分もそう見られるようになったなあ。」等とつぶやく全国の仲間が集まり、熱気ムンムン。基調報告、集會アピールの採択、「年金上げろ」とシニプレヒコイルで氣勢をあげながら、デモ行進をしました。高齢化の進展で社会保障給付の費用が膨らみ、国の借金が増え続けています。社会保障制度を維持するには、負担増や給付カットは避けられない状況です。しかし、どこをカットし、どこを補強するのか、何を保証するのかなど、わたしたちを納得できるように説明する気概ある政治家は、与党にも野党にもいません。

「気づいたらひどい状況」を避けるためには、仲間との学習や連携した行動、そして個人として投票行動が必要だと思っています。



日退教 総会

6月8日、日本教育会館にて、日本退職教職員協議会の総会が開かれた。議長団2名に、新退教副会長の北島理子代議員が選出され、重責を担った。

来賓 日退教、地公退、

日教組、他6



「経過報告と今年度活動方針」の構成

- 1 憲法改悪に反対し、平和・人権・環境が尊重される社会をつくるとりくみ
- 2 安倍「教育改革」の危険性と民主教育を守るとりくみ
- 3 震災復興と脱原発社会実現のとりくみ
- 4 格差是正、社会保障の充実・発展、生活を守り、増税に反対するとりくみ
- 5 組織の拡大、強化のとりくみ

北陸地区退教 総会

6/20、21、石川県で開かれた。昨年度活動の総括、今年度の活動方針や役員選出、情報交換を行った。

北ブロ地区会長 山根靖則（石川県）

新退連 定期大会

7月24日、新潟駅前のガレッソホールにて、新潟県退職者連合の定期大会が開かれた。

来賓 新潟県、日退連、連合新潟、他3

新役員

会長 早川武男（NTT退会）

副会長 山田太郎（J-P退職者の会）

〃 諸橋孝雄（新交OB会）

事務局長 齋藤由宣（自治退）

幹事 20人（新退教の大坂会長も）

昨年度「介護保険制度充実のための要請」

新退連 ↓ 新潟県へ 12月

佐渡地退 ↓ 佐渡市へ 1月

村上〃 ↓ 村上市へ 2月

中越〃 ↓ 長岡市へ 1月

〃 ↓ 見附市へ 1月

魚沼〃 ↓ 小千谷市へ 2月

〃 ↓ 南魚沼市へ 3月

〃 ↓ 魚沼市へ 6月

十日町〃 ↓ 十日町市へ 1月

柏刈〃 ↓ 柏崎市へ 3月

上越〃 ↓ 上越市へ 3月

〃 ↓ 妙高市へ 2月

糸魚川〃 ↓ 糸魚川市へ 1月

☆新潟県退職者連合のホームページ

<http://koureikyouniigata.jp/>

県 囲碁 大会

9月13日、新教組会館にて、全国退職教職員生がい支援協会との共催による「新退教県囲碁大会」が開かれた。今年度から新退教会員だけの大会となり、大勢参加できるようになった。来年度はさらに参加しやすくなるよう工夫を図りたい。

各クラス優勝者3人は、10月4日北陸ブロック囲碁大会（上越市、高陽荘）に出場した。

囲碁大会の結果 （敬称略）

Aクラス：無差別級

優勝 澤田芳郎（上越支部）

二位 荒木一貞（糸魚川支部）

Bクラス：2～5段

優勝 杉田三三（三南支部）

二位 山岸欣助（三南支部）

三位 木下利夫（上越支部）

Cクラス：初段以下

優勝 堀井 實（長岡支部）

二位 遠藤 昇（西蒲・燕支部）

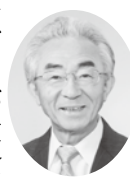
三位 森 嘉雄（長岡支部）



特別寄稿

国づくり・人づくり

Ⅱこれからの学校のありかた・私の提言①Ⅱ



中野 敏明

子どもが健全に育つ教育環境は、年々厳しさを増しています。夢や志をもって逞しく生きる若者が自然に育つ地域環境をどう構築すればよいのか。この課題に、どう考え、挑戦して来たかを2回連載で書かせていただきます。

驚きの地域・学校に覚醒

平成8年、新任校長として赴任した学校と生徒や地域の人々との出会いは、私の学校づくりの基盤と成りました。その学校は生徒83人の小規模校、越路町立塚山中学校（現在長岡市立越路中学校に統合）です。驚いたのは学校行事には、親ばかりか祖父母まで参加、地域住民総出で協力するのが当たり前。地域挙げてのスキー大会では、生徒は選手で役員でもあり、一人残らず大活躍です。日常もノーチャイムの自主、自律の学校生活。昼休みは教務室や校長室に生徒たちが訪れ、先生と囲碁を楽しむ者、話に花を咲かせる者、教科書を開いて質問する者と実にアットホームな雰囲気。放課後は学校の裏に広がる田のあぜ道を巡る3キロ、5キロコースを必死に走ってから部活動の練習。学力も高く、文武両道が身に付いていました。学校と家庭・地域の深い信頼関係に基づく一体感が、生徒の姿で実現している地域の誇りの学校でした。この

地で過ごし深く印象に残ったことは、自分の子もよその子も同じように目をかけ、見守り励ます大人の姿です。広く活躍する多様な卒業生を自慢する住民の方々の姿も…。

そして、気付いたのです。夢や志をもって逞しく生きる若者が自然に育つ地域環境とは、この地域のような「よき家風、よき校風、よき郷風の教育風土である」と。同時に、その後の校長としてのライフワークが明確になった瞬間でもありました（郷風は私の造語）。

地域と共にある学校へ

今の社会、学校と家庭だけでは子どもを守り、健全に育てていくことは困難な時代になっていきます。これからは、真に開かれた学校にして、学校、家庭、地域が当事者意識をもって一体となり、子ども達を育てていく「地域と共にある学校」づくりが不可欠であると考えました。

退職後すぐに教育長を拝命。校長時代の実践の集大成として、全ての小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、真に開かれた学校を目指しました。そして、22の中学校区単位に立ち上げた地域青少年育成会議とが車の両輪のごとく連携と協働する取組を継続して本年7年目を迎えています。

（以下、次号）

筆者略歴（新退教会員）

元 新教組執行委員

元 上越市立城北中学校長

前 上越市教育長

現 上越市教育委員会教育委員

みんなのページ

海道日本一周 四国②

高橋 初敏

高知県の「朝鮮国女の墓」を後に時計回りで宇和島城を見て、檜のように九州に突き出た佐田岬へ。平地は無くほとんど崖づたい道だ。人々は逞しい。ここに住み、名産ヒジキを道路で干している（いいのかな？）



愛媛と香川の県境の道の駅「とよはま」で磯遊びをしながら2泊。磯ガニのマヨネーズ炒めでビールが美味しい。一緒に飲んでいた元社長の「杉ちゃん」が、瀬戸の夕日を見ながら被差別部落出身の話を吐き出した。涙、涙の四国を終えた。

【教育現場の今】

◆小6「道徳」教科書の教材「星野君の二塁打」。野球チームの監督から犠打を命じられたが、それに背いて二塁打を打つ。チームは勝つが、監督からは「チームの約束を破って輪を乱した」ことを理由に次大会では出場禁止を言い渡された…。（授業は？教材は？）



◆コンピューターに動きを指示するプログラムを学ぶプログラミング教育は、2020年度から小学校必修。論理的な「プログラミング的思考」を育むのが狙い。英語教育は、小学校2020年度に本格導入。先行実施の県や市町村もある。

【二情報】

◆会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」（☎0256-77-2013開館土日月祝）、12／8～24乙川ちかと手しごとの仲間たち、1／5～21越前浜の作家たち展Ⅰ、1／26～2／11同上Ⅱ、2／16～3／4同上Ⅲ

◆新潟大学特任教授の伊藤充さん（当会会員）が『新潟県 県民性の歴史 ―県民性・地域性、その歴史的系譜―』を8月に出版した。66編の多彩なテーマ検証から県民性を考察する楽しい歴史読本。（新潟日報事業社、303頁、1800円＋税）

◆村上市細工町に9月15日、素泊り宿「よはくや」がオープン。相部屋1室（1人4500円）、2人までの個室3室（2人なら1人6500円、1人なら7500円）。いずれも朝食の食材費込み。営業は金土日祝前祝日。yadoyohakuya@gmail.com

◆元東京電力社員で、今年7月に柏崎市に帰郷した蓮池透さん（63歳）は、原発での東京電力と国との癒着を暴露した『告発』をビジネス社から出版した。

◆糸魚川市の谷村美術館（シルクロードの遺跡をイメージしたフォルム）が開館35周年を迎えた。同館は、翡翠園（1978年開園）、庭園の玉翠園（1981年開館）に続いて1983年に開館した。

◆湯沢町、南魚沼市、魚沼市、十日町市、津南町、長野県栄村、群馬県みなみ町からなる「雪国観光圏」は、雪国ブランドの構

築を進めた点などが評価されて「ツーリズム・アワード」大賞を受賞した。

◆横田めぐみさんらの帰国を願う「忘れるな拉致 県民集会」が、11月17日に県民会館で開かれた。横田早紀江さん、曾我ひとみさんらが拉致問題の解決を訴えた。

○新潟県退職公務員連盟は、今年の夏も地元国会議員へ年金等の陳情を行った。（ありがとうございます）

○医師が常駐して医療と介護を同時に提供する「介護保険施設「医療介護院」が今年度から始まった。6月末現在、全国に21施設。

○寺島実郎監修『2018都道府県幸福度ランキング』（2年毎に発表、約70の指標に基づく）によると、①福井②東京③長野④石川⑤富山…⑩山形。新潟県は23位。

□施設・飲食・カラオケ等でシニア割引あり。その意味でも健康保険者証は必携。



□新潟交通バスカード「リゅーと」に「シニア半割」あり。（新潟市在住65歳以上、毎年更新、手続きはバスセンターや各営業所）

□JR「ジパング倶楽部」会員は、201km以上（含む往復）利用の際、乗車券・特急券等が3割引になる。（個人会員は男65歳以上・女60歳以上、夫婦会員は片方が65歳以上。年会費は個人会員3770円）

□大人の休日倶楽部バス、年3回ほど、JR東日本管内15000円で5日間乗り放題。

□年齢制限なしのJR「青春18切符」、日本中、普通・快速列車に乗り放題。1枚1日有効×5回分11850円。（5人日帰り旅行も可）春、夏、冬の限定期間。

*6／8、国際労働機関（ILO）総会は、セクハラなど働く場での暴力やハラスメントをなくすための条約をつくる方針を決めた。（初の国際基準）

*ラッキー池田さんは「憲法早口ことば」「けんぼう体操」を提唱。武蔵野美術大学の志田陽子さん（憲法学）は「歌でつなぐ憲法の話」で講演している。

*8／17～18、日中韓平和教育実践交流集会（2023発足）が5年ぶりに韓国のソウルで開催された。

*2019年3月10日（日）、新潟市のANAクラウンプラザホテルにて、小泉純一郎元首相が脱原発の講演を行う。主催は「新潟の新しい未来を考える会」（片桐奈保美会長、080-1245-3335）

あとがき

安倍首相の改憲執念は非常に強い。巧妙に、しかし、いざとなればなりふり構わず電撃的に実行するのではないか。これを防ぐために、小さな動きにも敏感に対応し、大同団結し、地道に世論喚起を進めたい。（山岸）

